

庄原市研究助成事業報告会

# 庄原市における放牧および どんぐり肥育による養豚の確立

研究期間：平成19年7月から平成21年3月

研究代表：村田 和賀代（生命環境学部）



# 庄原市農業の背景

- ① 高齢化  
⇒ 年齢構成にあった産業の必要性
  
- ② 中山間地域  
⇒ 小ロットの生産と消費

# 庄原市農業の背景

- ・ 庄原市の自然条件を活かす
  - ・ 一次産業



林間放牧とドングリ給与を組み合わせた  
養豚の提案

# ドングリ給餌豚の背景

## ドングリを与えた養豚の事例

- ① スペインの「イベリコ豚」
- ② 鳥取県の「トトリコ豚」

# ドングリ給餌豚の背景

## 養豚におけるドングリの効果

皮付きドングリを出荷前50日以上  
1kg/日給与することにより、筋肉内の不飽  
和脂肪酸が増加する。

(鳥取県中小家畜試験場 2003～05)

# ドングリ給餌豚の背景

不飽和脂肪酸:

植物や魚類の油に多く含まれている。  
コレステロール値を下げるといわれている。

# これまでの成果

## 庄原の地理・気候に合った ドングリ給与放牧養豚の実践

- ① ドングリ給餌の可能性
- ② 増体状況
- ③ ドングリ収集システムの可能性
- ④ 肉質の検査

# これまでの成果

## ① ドングリ給餌の可能性

- ・ 庄原市内で豚肉を商品化できるだけのドングリが集まるか
- ・ 庄原市内で収集可能なドングリを豚が嫌わずに食べるか

# これまでの成果

## ② 増体状況

- ・ 放牧すると体重の増加率が下がるといわれているが、経済的に成り立たないほど下がるのか

# これまでの成果

## ③ ドングリ収集システムの可能性

- ・ ドングリ収集を畜産業者ではなく、市民の協力で実施することが可能か

# これまでの成果

## ④ 肉質の検査

- ・ 「食べて美味しい」こと

⇒肉質の改善

⇒調理法

# これまでの研究の概要

## 平成19年度(1年目)の放牧スケジュール

目標: 4ヶ月間放牧

最終1ヶ月間程度, 飼料にドングリを追加する

## 平成20年度(2年目)の放牧スケジュール

目標: 仕上げ体重120kg(放牧期間: 約40日)

放牧期間中, 飼料にドングリを追加する







# 研究の概要

飼料：市販の配合飼料  
＋最終段階でドングリを追加

不断給餌  
(いつでも餌を食べられるように  
箱型の餌箱を設置)

問題点：カラスによる食害



# 研究の概要

ドングリは皮付きのまま粉碎

ドングリの種類は、主に3種類

①クヌギ, ②コナラ, ③シラカシ

平成20年度からは、ミズナラを加えた4種類

# 庄原で収集可能な主なドングリ

①



②



③













# 試験放牧の結果

## 食味の感想

- 外食関係者, バイヤー:  
アクや縮みが少ない, 甘味がある
- 一般の方:  
臭みがない

# 成果の活用

## 特産品としての豚肉

- ① 豚肉(精肉)
- ② 豚肉加工品  
(ハム, ソーセージ, ベーコンなど)

# 成果の活用

## 地域との連携

- ① 「ここでしか食べられない」  
素材とメニュー
- ② ドングリ拾いを小規模ビジネスへ
- ③ 食農教育の場

# 成果の活用

2009年度以降の展開

- ・店頭販売
- ・庄原市内のレストラン等での販売

